

紙飛行機通信

香川大学 教職大学院 ニュースレター

10



本学教職大学院も加入している日本教職大学院協会の令和元年度研究大会が、令和元年12月7・8日に、東京の一橋大学一橋講堂でありました。今年は、教職大学院の制度が創設され、初めての修了生を出してから10年の節目となります。全国に教職大学院が設置され、学生数も格段に増えました。そのためか、研究大会にも多くの学生、教員が集まり、ポスターセッション、実践研究成果発表はいずれも熱気に包まれていました。

教員養成大学の再編統合が言われる中で、教職大学院では、教科教育分野を取り込んだ拡充が進んでいます。今後は、各教職大学院の特色や魅力を競うことが求められ、質保証と発展の方向が問われるのでしょう。

本学教職大学院は、令和2年度からの改組に向けて準備をすすめています。すでにアナウンスしているように、3コースそれぞれを充実させます。県教育委員会と連携した教員研修連携科目がはじまりました。教科や教材開発の授業を充実し、教科横断的教育内容の科目を開設します。特別支援学校教諭専修免許状の取得も可能となります。広く学部卒学生を受け入れます。学校だけでなく、地域の中での役割が増して、その真価を発揮するときです。

紙飛行機 さらに羽ばたけ

専攻長 武蔵 博文

「香川の教育づくり発表会」で修了生のポスター発表

令和元年12月26日（木）に、丸亀市のアイレックス香川で昨年度の修了生11名によるポスター発表があり、フォローアップ・プログラムの一環として、発表を行いました。大学院で学修したことをもとに学校での継続的な取組事例や新たな取組について、参加者との質疑や工夫したポスターによる発表で、会場は熱気に包まれていました。



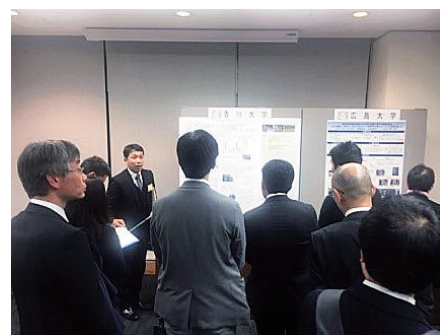
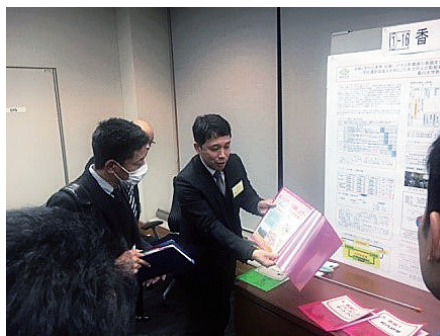
日本教職大学院協会 研究大会での ポスターセッションを通して

学校力開発コース

満嶋 吉伸

2019年12月7日(土)・8日(日)に東京の一橋大学一橋講堂で行われた日本教職大学院協会研究大会ポスターセッションに参加してきました。全国52の教職大学院が参加し、学修成果の発表・交流を通じて、相互の発展・充実が図られました。

私自身のテーマは「地域と学校の連携・協働に対する教職員の意識変容を促す取組～学校運営協議会を核とした体力向上の取組を通じて～」でした。多くの他大学の先生や院生等が発表を熱心に聞いてくださり、さまざまな視点からの質疑応答を繰り返すことによって、私自身の考えを広げることができました。他の教職大学院の学修成果や大学院生活等についても交流でき、大変貴重な経験になりました。



香川、徳島(鳴門)、愛媛、高知の4つの教職大学院の学生が集まったの交流会が行われました。今回は、開催地である愛媛大学の教職大学院生の実践発表を聞く第1部と、グループディスカッションをする第2部との2部構成で行われました。

交流会に参加してよかったことは、同じような立場や境遇にある仲間(同志)との出会いです。自分が取り組んでいる実践研究が、先進的なのか凡庸なのかなど、同じ大学内では確認できなかったことが、他大学の研究を見学したり、取り組みについての意見交換をしたりする中で、自分の研究の位置や価値に気付くことができるとても有意義でした。また、同じような研究をしている方と先行研究や参考になる書籍に関する情報交換をできたこともとても有意義でした。また、教職大学院の学生ならではの悩みを共感してもらえるのも、同じ立場の仲間ならではのいいところだなと感じました。

四国4大学 教職大学院交流会に 参加して

授業力開発コース

濱浪 雅登



令和元年度「教職実践研究フォーラムのご案内」

本学教職大学院の令和元年度教職実践研究フォーラムが、令和2年3月1日の午前中に開催いたします。昨年は、県外からの参加者を含めて合計123名の方が集いました。今年度は、15名の大学院修了予定者が発表を行います。

詳細についてはホームページ等でお知らせいたします。是非お越しください。

日時

3月1日(日)9時より

場所

香川大学幸町北キャンパス
(教育学部)